

航海訓練所実習生が寄港地で手旗踊りを披露

大島商船高等専門学校同窓会

昨年、平成 26 年 10 月 25 日（土）・12 月 13 日（土）、航海訓練所の帆船日本丸で大島商船高等専門学校の実習生 25 名が広島港・横浜港で本校伝統の手旗踊りを一般に披露しました。

この手旗踊りは、5 つの商船高専の中でも大島商船高専だけにある独自の踊りで昭和 46 年の商船祭から始まった 40 年以上の伝統ある手旗踊りです。現在でも 11 月 3 日の本校商船祭で 120 名もの 1 年生がこの手旗踊りを毎年披露しており、卒業生や地域の方々、学校職員が楽しみにしている伝統的な踊りです。1 年生は 2 年生、3 年生の指導の下に、約 1 か月前から放課後、空き地を選び、この手旗踊りを練習しています。商船祭の一週間前には、学内通路を利用し本番さながらの予行練習を繰り返し行い、本番に備えています。

手旗踊りの発明者は目下調査中ですが、ある程度のところまでは目星がついているため、次回の会報で発表できればと思います。

本校学生が帆船日本丸で手旗踊りを披露したことは大変な手柄であり同窓会としては今後も手旗踊りに対して何らかの援助をしたいと考えている次第です。120 名の男女学生が学科を問わず整然と並び、一糸乱れぬ手旗踊りは壮観であります。今回は寄港地で海のロマンスの曲と共に手旗踊りを披露し、多くの一般客を魅了しました。たくさんの方々から歓声が上がり、商船高等専門学校を知って頂くきっかけになったことは、海そして船への夢、あこがれ、ロマンを誘った場面でもありました。

